

令和5年度 岩手県立大槌高等学校経営計画(案)

校長：継 枝 齊

1 校訓・教育目標	予測の難しい未来社会を主体的に生きていくために一人ひとりの強み“大槌(ハンマー)”を持ち、地域や社会に貢献できる人間の育成
(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<b>①意志がある(自立)</b> 自らの志を深め、物事を探究する意欲を持ち、自らの進むべき道や地域社会の課題をジブンゴトとして、主体的に行動ができる人 <b>②仲間とともにある(協働)</b> 世代や地域、言語が異なる人との交流を通して、他の価値観や文化等の多様性を受容し、立場の違いを超えて共創することができる人 <b>③逆境から創り出す(創造)</b> 予測できない未来や想定外のこと、困難な状況を乗り越えるためのしなやかな心を持ち、必要に応じて助けを求め、体験から学びを得ようとする姿勢を持ち、新しい価値を創ることができる人
2 スクール・ポリシー (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<b>【本校の教育活動】</b> 地域と連携・協働した探究的な学びにより、一人ひとり個性を大切にしながら強み(ハンマー)を育てる教育を展開します。 <b>①学習の内容</b> ・中学校までの基礎的な学習内容の定着を図りながら、高校のより専門的な内容を学習します。 ・基礎的な知識・技能の習得と、それらを活用できる総合的な学力を育みます。 ・授業や探究・課外活動を通して深く考える力や他者に伝える表現力を養います。 ・個人の興味関心を起点に授業等の時間を活用して、探究的な学習につなげます。 ・復興教育や海洋教育などの大槌ならではの学びがあります。 ・社会で役立つ資格を取得できます。(簿記検定、ビジネス文書検定、情報処理検定、甲乙危険物取扱者資格、英語検定、漢字検定、数学検定など) <b>②学習の方法</b> ・一人ひとりの理解度や進度に応じて丁寧に学習指導します。 ・総合的な探究の時間を活用し、地域の人たちや仲間との協働的な活動を増やし課題解決型学習やマイプロジェクト探究を実施します。 ・実習や体験の機会を多く設定し社会で必要とされる力を養います。 ・東大大気海洋研究所や大槌町役場と連携し地域資源を活かした活動を実施します。 ・ICTの活用により、効果的な授業実践や生徒の表現活動の機会を広げます。
(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<b>【大槌高校が求める生徒像】</b> よりよい社会づくりに貢献できる人を育てるため、次のような人を求めています。 ◇ 互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒 ◇ 自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒 ◇ 将来、地域や社会に貢献するために日常の学習に前向きに取り組む生徒 ◇ 部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒 ◇ 大槌の自然環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒

(様式1)【高等学校用】

3 魅力化協働パートナー		魅力化協働パートナー (団体名・個人名)	地 域	大 学	産 業	他
	1	大槌町長	○			
	2	大槌町教育委員会	○			
	3	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター		○		
	4	認定 NPO 法人カタリバ				○
	5	大槌町商工会			○	
	6	大槌町議会	○			
	7	大槌町立学校長会	○			
	8	大槌高校 P T A	○			
	9	大槌高校同窓会	○			
	10	千田精密工業			○	
	11	おらが大槌夢広場				○
	12	大槌学園 P T A	○			
	13	吉里吉里学園 P T A	○			
	14	おおつちこども園	○			
地域：地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人 大学：大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人 産業：企業、産業技術研究機関、産業振興に取り組む機関・団体及び個人						
4 目指す 学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標			
		ア(学力・授業力の向上) 未来社会に生きる力をつける学校	・アンケートで「授業がわかりやすい」生徒85% 保護者70%			
		イ(進路目標の実現) 生徒一人ひとりの目標が応援され、それぞれの強みを見つげられる学校	・就職100% ・進学100% 国公立大学5名			
		ウ(生徒指導の充実) 地域が学びを育て、学びが地域を育てる学校	・問題行動「0」			
		エ(教育相談の充実) 多様な価値観で多様な個性を支える学校	・いじめアンケート・いじめ対策委員会・サポート会議 各4回以上実施			
		オ 本校魅力化構想と文部科学省事業「普通科改革」の推進	・魅力化構想会議・運営指導委員会 各2回以上実施			
	(2) 取組方針	ア 学力・授業力の向上 (ア) 互見授業と教科別検討会の100%実施 ビデオ研修の実施 (イ) 学習習慣の確立 0時間の生徒0% 1時間未満の生徒10%未満				
		イ 生徒の進路実現を図る (ア) 進路指導課を中心としたきめ細やかな指導の充実 (イ) 進路別に対応したガイダンスや模試の実施 (ウ) 県立学校復興担い手育成支援事業の活用				
		ウ 自律的生活習慣の確立 (ア) 生徒による校則の検討 (イ) 情報モラル教育等の実施				
		エ いじめ問題などに適切に素早く対応 (ア) 生徒の心と身体のケア (イ) いじめや学校不適応の未然防止、いじめ問題への迅速な対応				
		オ 本校魅力化構想と文部科学省事業「普通科改革」の推進 (ア) 地域協働校視察などを通して本校の魅力化を促進 (イ) 大槌町、町内学園や地域と協働し実施 (ウ) いわて高校魅力化ふるさと創生推進事業の活用				